

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム生きがい(第二ユニット)	評価実施年月日	H20. 8. 1～H21. 2. 2
評価実施構成員氏名	石垣 由美子 村山 有紀 高橋 真海 源常 知子 後藤 みゑ		
記録者氏名	石垣 由美子	記録年月日	H21.2.15

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>独自の理念、ポリシーがあり、それに沿ってサービスを提供しています。</p>		<p>今後も理念を念頭におきながら、サービスを提供していきたいと思います。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>職員の目に止まる所に貼っている。社内研修時に再確認し実践出来る様にしています。</p>		<p>日々の生活の中で、再確認した事を実践していきたい。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>見やすい所に掲示している。入居の際や面会時、又運営推進委員会時に説明しています。</p>		<p>運営推進委員会で、家族、民生委員の方に日々の暮らしや取り組みを伝え、意見交換しています。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>近隣の施設の方々が、散歩時に立ち寄り、庭のベンチで休まれている。運営推進委員会等を通じ、いつでも遊びに来て頂ける様な、呼びかけを行っています。</p>		<p>お互いの行事に参加し合いながら、付き合いを深めていきたい。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>地域小学校行事(運動会、学習発表会)への招待を受けたり、近隣のお祭りや、地域の収穫祭等に参加させて頂いている。地域のお祭り時、子供神輿がきてくれます。又、ホーム夏祭りの時には、お知らせし、交流をする事に努めています。</p>		<p>運営推進委員会で、民生委員の方や家族に、取り組みについて意見交換をしています。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>隣接している施設の花植えを行ったり、ホーム中庭に雪あかりの路を制作し、楽しんで頂いています。</p>		<p>お互いの行事に参加し合いながら、付き合いを深めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価や外部評価に基づき、評価を活かせる様に職員は話し合い、取り組んでいます。</p>		改善点があれば取り組みし、より良いホームにしていきたいと思います。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月毎の運営推進委員会の開催時に委員の皆様(地域の方や、家族)と話し合い、意見を伺いサービス向上に活かしています。</p>		今後、委員を引き受け参加する方が増えると、更にサービス向上につながると思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>書類提供する時に、窓口で相談をしています。</p>		市町村と共にサービス向上に取り組める機会を作っていきたいと思います。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>権利擁護に関し、学ぶ機会を持つ様努力していきます。</p>		権利擁護に関する制度の理解を深め、機会があれば学んだ事を活かしたいと思います。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内研修で常に話し合い、学んでいる。職員は理解しており、虐待はありません。</p>		今後も、学ぶ機会を作り、虐待防止に努めていきたいと思います。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約に関しては、家族と十分に話し合い契約書、重要事項説明書に同意を頂いている。又、解約時にも不安が無い様に努め、疑問点等があれば、その都度説明し、納得して頂ける様に対応しています。</p>		重要事項説明書に提示しているが、説明を求められる時には、理解、納得をして頂ける様に都度対応しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者からの意見等があれば都度伺う様にしており、家族の面会時又、運営推進委員会時等に反映させる様に努めている。		利用者からの意見があれば、いつでも伺い対応に努めています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会時健康状態や暮らしぶりについて伝えていきます。又、電話での報告も行っています。2ヶ月に1回、近況報告と金銭収支報告書を郵送しています。		今後も継続していきます。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	重要事項説明書に記載されている外部機関を説明した上で、家族からの意見、不満、苦情があればその都度伺い、運営に反映させる様に努めています。玄関に説明文と共に、意見箱を設置しています。		意見箱の利用は、今の所無いが何かあればいつでも気軽に話して頂ける様に努めています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	フロア会議の席で話し合ったり、その都度意見を聴く機会は設けているが、内容によっては、反映出来てない事もある。		職員の意見、提案を反映出来る様に努めていきたい。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	前もって予定されている時、緊急時には要望に対応出来る様に勤務調整を行っています。		職員間で調整する様に努めています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動時には、利用者への影響が最小限になる様に、職員が関わりを多く持つ様にしています。		異動による不安を解消出来る様に、利用者への関わり方を配慮する様に心掛けています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>毎月社内研修を実施している。外部研修への参加は確保し、出来る限り実施出来るように努めています。</p>		<p>今後も、社内、社外研修を受ける取り組みをしていきます。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>市内、市外へのグループホームの見学を行った。又、グループホーム協議会へ参加しています。</p>		<p>交流は多いとは言えないが、勉強になると思いますので、これからも機会があれば、参加していきたいです。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>仕事上の悩みは、職員同士で話し合ったり、チーフや主任が相談に乗り話を聴く等を行っています。</p>		<p>相談に乗り、仕事の工夫に取り組むストレスの無い環境作りに努めたいです。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>勤務状況を把握し、各職員が能力を発揮出来る様に心掛けています。外部研修に参加し、学ぶ機会を作っている。又、資格取得も勧めている。</p>		<p>仕事面、生活面において、各職員が向上心を持ち自分らしく働いて行ける様に努めています。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居時やホームでの生活の中で、生活歴を聴き取り、本人の求めている事を受け止める様に努めています。</p>		<p>見学を勧め、これからの生活の場を見て貰い、不安な部分が解消出来る様に努めます。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>ご家族の気持ちを良く聴き取りし、求めている事を受け止める様に努めています。</p>		<p>ご家族には何かあれば、いつでも話して貰える様に面会時等に伝えていきます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、家族が必要とする目標を共有し、聴き取りの上、効果的なサービス提供に添える様に対応しています。		ホーム見学を納得いくまでして頂き、その都度話を良く聴き必要としている支援の確認に努めています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	家族との相談を重ね、何度でも見学に来て頂き、納得の上入居されている。本人が楽しみをもって過ごし、職員や他の利用者と徐々に馴染める様に工夫しています。		何度も見学して頂き、ホームの様子を見て貰い安心して生活出来る事を納得して貰っています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	人生の先輩として敬い、日々の生活の中で知恵や、体験を教えて頂くという姿勢で接しています。		一緒に過ごし学び支え合う中で自信を回復し、自分らしい生活を送れる様に支援していきたい。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の方と共に目標を共有し本人を支え合う関係を築いています。		面会時や電話等で日々の生活を常に話しており、関係を築いています。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	入居時に本人と家族との関係を把握し、良い関係が継続出来る様に支援していきます。		面会時に近況を伝える他に、電話で連絡を取る等をし支援しています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご本人が希望された時は、昔から通ってる病院受診は家族に協力を頂いている。又、何十年来の知人の方が面会に来てくれている。		出来る限り本人の希望に添って、ご家族の協力のもと支援を行って行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個々の性格に配慮し、気の合う仲間作りで安心した生活を送れる様に援助しています。		職員は利用者同士が良い関係作りが出来る様に支援しています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約終了後も、相談があれば応じたいと伝えています。		今後も付き合いを大切にして行きたいです。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に本人、家族より思いを聴いており、それに添ったサービス提供が出来る様に努めています。希望や意向は、その都度聴いています。		本人の気持ちを第一に考え、一人ひとりに合ったケアが行われている様に支援しています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族から話を聞き取りし、フェースシートに記録している情報を元にその人らしい生活が送れる様に支援しています。		聞き取りした内容を職員は共有し、支援しています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	本人の1日の流れを把握し、心身状態に変化が無いが見守りしています。		職員間の情報交換は日々行っており、現状の把握に努めています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族の意向を聞き取りし又、職員の話し合いから個々に合った介護計画作成をしています。		本人、家族から聞き取りし、担当者会議で十分に話し合い、計画を作成しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画見直し時には、担当者会議を開催し、モニタリングを行い、現状に適した計画を作成しています。		日々の情報交換で、本人の状況に変化があった際は現状に適した計画を作成し支援に努めています。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護計画に基づき、日々の様子を介護記録に記入している。本人に変化が生じた際には担当者会議を開催し、介護計画を見直しています。		担当の職員が1日の状況を介護記録に記入しています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	面会時、居室、リビング、中庭等自由に利用して頂き、宿泊希望があればお部屋を用意する等、その時の要望に応じて支援しています。		ご本人や家族の要望に応えられる様に努めていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員～運営推進委員会への参加、雪あかりの路、夏祭り時にボランティアをして下さる。ボランティア～指圧、茶道、歌会に来て下さる。消防～年二回消防訓練、救命救急法の指導をして下さる。小学校～運動会、学習発表会に招待して下さる。		今後も交流を継続して行きたいです。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のケアマネジャーや事業者と連絡をとっています。		入居の際の相談や、他施設への転居時等協力を頂いています。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要時に相談したいと思います。		今後必要時には相談したいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	地域に協力病院があり、定期受診を受けており必要な支援を受けています。		定期的に受診し、本人の健康状態を伝え診断を頂いている。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院では、優先的に診療する時間を設けて対応して貰っています。		定期受診し、医師からの指示を職員は共有し生活の中で支援しています。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力病院の看護師長に相談しています。		利用者の体調変化があった時にホームにて対応する事、受診するかの判断を医師に橋渡しして頂いている。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時は家族、病院と連絡を取り合い経過を知らせて貰ったり、又実際に病院へ行き、状態を確認しています。退院に向けての相談も受けています。		具体的に状態を確認しており、退院後の協力体制もあります。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	主治医、家族と早い段階から十分に話し合いをして、方針を共有出来る様に支援しています。		情報は家族と共有している。必要に応じ、本人にあった機関の利用を勧めます。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	本人、家族の意向を聞き、主治医とも相談しながら、本人にとって一番良い環境で安心して過ごせる様に支援をしています。		定期的に治療を受けながら、より良く暮らせる様に支援して行きます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>情報交換を行っています。本人や家族が納得いくまで見学したり、催し物に参加して頂く等し徐々に馴れてダメージを少なく出来る様に努めています。</p>		<p>本人や家族の希望に合わせて対応していく様に努めています。</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>人生の先輩として教えて頂くとの態度で接しています。話す時は、ゆっくりとはっきりとした口調でしています。</p>		<p>人生の先輩として敬う態度で接しています。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>職員は、本人が自己決定出来る様に分かりやすい言葉で話しかけています。</p>		<p>利用者の希望を取り入れ、自己決定出来る様に支援しています。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>日々の生活は、各利用者のペースに合わせた対応を行う様に心掛けています。</p>		<p>食事、入浴等個人のペースに合わせて無理の無い日々を過ごせる様に支援しています。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>家族の協力で以前からの美容室、理容室へ外出したり、訪問理容を利用し、本人の好きな髪型が出来る様に支援しています。</p>		<p>季節にあった身だしなみ、おしゃれが出来ているか見守りしています。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>食事を楽しめる様に、ある食材を工夫し調理しています。季節や行事にあったメニューを提供し、盛り付け等も工夫しています。利用者と一緒に食事の準備や片付けを行っています。</p>		<p>献立に利用者から出た意見を取り入れている。利用者と職員が同じ食卓に座り食事を楽しめる様に支援します。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ホームではタバコを吸う人はいないが、喫煙場所はある。お酒は提供していない。飲み物やおやつは出来る限り好みの物を提供しています。		本人の嗜好は出来るだけ考慮し、希望される方が居たら提供していきたい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	各利用者の排泄パターンの把握に努めています。トイレ誘導や声掛けが必要な方には、さりげなくサポートし、失禁による不快感を軽減し、トイレにて気持ち良く排泄出来る様に支援しています。		個々の排泄パターンを把握しており、声掛け、トイレ誘導見守り等行っています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴を楽しんで貰える様に支援しているが、曜日、時間はだいたい決まっているのでその中でゆっくりと入って頂いています。		一人で入られる方、職員介助で入られる方等、本人の希望や体調を確認し入浴を楽しまれています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の生活習慣や体調に合わせた休息が取れる様に支援している。又、夜間は巡視にて安全の確認を行い、安眠出来る様に支援しています。		リビングでテレビを観て過ごされる方、自室で読書される方、塗り絵、くす玉作りをされている方等利用者は好みに合わせて行っています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々の希望や状態に合わせ、家事の役割分担やレク(茶道、書道、歌会、喫茶)、趣味(くす玉作り、塗り絵、パズル)に参加する事を、楽しんでいます。		個々の役割を楽しまれており、張り合いのある生活を送れる様に努めています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	希望する利用者に対しては、家族に確認頂き、少額(小銭)を持っている方も居ます。		置き場所忘れてしまう事もある為、家族と相談しながら対応しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	近隣への散歩に出掛け花を摘んだり、車にてお花見や紅葉を見に行っていました。		今後も体に無理のかからない様に支援し、戸外に出掛けて行きたいです。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	バスレクリエーションとして春と秋(お花見、紅葉狩り)に季節の景観を楽しめる様に支援しています。		春の花見、秋の紅葉狩り、学校行事への参加、近隣施設の夏祭り、地域の収穫祭等へ出掛けて交流をはかる様に努めています。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	家族や友人宅へ電話をかけたい時は、いつでもかける事が出来ます。手紙は勧めても、書く利用者は居ません。		利用者がかけたい時は、いつでも支援出来る事を伝えてあります。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも面会に来て頂ける様に、本人、家族、友人に伝えており、面会時にはお部屋でゆっくりと過ごすして貰える様に支援しています。		ご家族、友人が面会によくみえられており、お茶を飲みゆっくりと過ごされています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内研修にて、学んでおり拘束は必要ないし、していません。		社内研修にて理解しており、都度確認に努めています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中、鍵は掛けていません。夜間、防犯上施錠しています。		玄関～夜間施錠しています(夜勤者が退社後に夜勤者が鍵を掛けています)。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼夜共に、利用者の所在や状態を把握し、安全に配慮している。その様子は、介護記録に記載しています。		介護記録を読む、又、申し送りで様子を把握し安全確認に努めています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	刃物、薬剤は職員が管理しており、状況に合わせてお渡ししています。		鋏、爪切り、服薬等、側で見守り、出来る限り本人の持っている力を維持して頂く様に努めています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	社内研修で学んで居ます。職員は、利用者の様子を把握した上で、事故防止に取り組んでいます。		定期的な研修で知識向上につなげていきたいです。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	年二回、救急救命の受講を受けています。		利用者の急変や、事故発生時にすぐに対応出来る様にしていきたいです。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練、自主訓練、夜間訓練を行っています。隣接しているグループホームと協力し、安全に避難出来る体制を整えています。		今後も、定期的に訓練を行い、利用者を安全に避難させる体制を整える様努めます。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	利用者の変化等を早めに家族に伝えており、対応策についての話し合いは、個々にしています。		身体的、精神的等の変化があれば家族に説明、相談しています。又、ホームで行っている対応も家族に伝えていきます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	利用者の体調確認し、異変の発見に努める様に対応しています。		顔色、食欲、話し方、歩行状態の観察、血圧測定し普段との違いがないか、健康チェックしています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書を記録簿に綴り職員は理解しています。個々の薬箱は職員が管理し、服薬支援をしています。症状の変化の観察をしています。		各利用者の症状を確認しています。目的、副作用に関しては、服用薬品説明書の読み、確認しています。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	乳製品を積極的に摂取する様にしている。水分量を把握し、体操で体を動かしています。医師への相談なども行っています。		排泄表に記録しています。便秘の利用者には、牛乳を提供したり、体を動かして貰ったり便秘薬の調整(主治医からの指示)を行っています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後に歯磨きをして頂き、不十分な方には、声かけや一部介助を行っています。夕食後は、義歯を預かっており、明朝戻しはめてもらっています。		毎食後、職員が見守りや介助にて綺麗に義歯、口腔内を磨いて貰っています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食時、食事量、水分量をチェックし、介護記録に記入しています。利用者の状態に合わせて粥食や刻み食を提供しています。		毎日、食事量、水分量を記録してます。嚥下機能の低下を防ぐ為、嚥下体操を行っています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ、ノロウイルスの感染症マニュアルを作成しました。インフルエンザは毎年予防接種を受けています。ノロウイルス対策として、次亜塩素酸ナトリウムでの掃除と手洗いを励行しています。		感染症マニュアルを作成し、社内研修を行い職員全員理解している。家族の面会時マスク着用と手洗いをして貰っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>台所、まな板は調理後に漂白、布巾、スポンジ、たわし等も毎回漂白しています。食材は、鮮度の良い物を使用し、賞味期限などを確認し、冷蔵庫、冷凍庫等で保管しています。</p>		<p>包丁、まな板等は、都度消毒を行うが、遅番の職員が最後の消毒を行っている。週一回冷蔵庫内の消毒をしている。共に、キッチンチェック表へ記入しています。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関周りには、『フラワーボックス』を並べて置いている。中庭には、芝生、樹木があり花壇と野菜畑があり、癒しの空間になっています。</p>		<p>中庭に設置しているテーブルやベンチは利用者がお茶を飲んだり、近隣施設の方が立ち寄りお喋りを楽しまれている。</p>
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節の飾り(ひな祭り、節句、クリスマス、お正月)を取り入れている。又、毎日の掃除で居心地よく過ごして貰える様に、心がけている。不快な音や、光が無い様に都度職員が調整しています。</p>		<p>居心地良く過ごして頂ける様に、今後も努めていきます。</p>
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング、フロア、居室等自由に使用して頂いている。それぞれ自分に居場所の確保をし、ゆったりと過ごされている。又、気の合った利用者がお喋りを楽しまれています。</p>		<p>利用者で気の合う同士過ごされたり、部屋で読書や音楽を聴かれたり休まれたりと使い分けされている。</p>
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時にご本人が使用し、慣れ親しんだ物を持参される様に説明しており、居室に馴染みの家具等を配置し、居心地良く過ごされています。</p>		<p>家具、置物、衣類、食器等以前から使っていた馴染みの品を置き、居心地良く過ごして貰っています。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>掃除の時に、各部屋の窓を開け空気の入替えを行ったり、換気扇を回している。温度、湿度計を設置し、適温に調整しています。</p>		<p>一日に何度か、窓を開け換気をしたり、加湿器設置し、濡れタオルを干す等し調整しています。臭い対策として、木炭を使用しています。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	ホーム内の床は、全面バリアフリーで安全に歩ける様になっています。廊下、階段、トイレには手摺りを設置。浴室も手摺りと滑り止めが設置されています。		今後も、安全に出来るだけ自立した生活を送れる様、環境作りに努めたいです。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	本人が出来る事、出来ない事を把握し、出来ない部分については一緒に行なう様にしています。トイレは、大きな目印を付け、居室は各自の表札を付け、迷わず行ける様にしています。		本人が出来る事を見付け、手伝って貰う。趣味を楽しまれている方への支援等、出来る事を見付け、自信の回復へつなげる工夫をしています。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭や、遊歩道がある。中庭にテーブル、椅子を設置しホーム喫茶を開催し他の利用者と交流したり、花を眺めたり、野菜を収穫し楽しんでいる。		花植えや、畑の収穫等も利用者の方々と一緒に行なっています。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	②
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	④
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">①</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)